



稲田小学校での台湾特別メニュー給食の様子。
台北駐日経済文化代表處 謝代表 (右側中央)



1

かさま応援大使に
純烈と岩崎シエフが任命

10/5
11/5

10月5日(土)、笠間市の魅力を広く発信し、市のイメージアップや知名度の向上を図る「かさま応援大使」に、「ムード歌謡コーラスグループ」「純烈」が任命され、「かさま新栗まつり」のステージにて、委嘱状が手渡されました。
また11月5日(火)には、ホテルメトロポリタンエドモント総料理長の岩崎均シエフが「かさま応援大使」に任命され、東京駅で行われた「笠間の栗フェア in 東京駅」のPRセレモニーにて、委嘱状が手渡されました。

2

笠間特別観光大使に
Brother Beatsと斬波が任命

11/15
11/30

11月15日(金)、笠間市出身の兄弟ドラムユニット「Brother Beats」が市の観光PRを行う「笠間特別観光大使」に任命されました。
また11月30日(土)には、「新感覚 歌謡男子グループ「斬波」が「笠間特別観光大使」に任命され、笠間公民館で行われたチャリティライブ「斬波劇場 in KASAMA」内で委嘱状が手渡されました。

3

台湾と笠間の食を通じた
文化交流が始まる

11/1

市内の小中学校・義務教育学校の給食に台湾特別メニューが登場しました。当日は、台湾バナナが添えられ、台湾政府関係者の方々と一緒に、「特別メニュー「ルーロハン・ツザイタンファータン」給食を楽しみました。
また、市内のスーパー「カスミ」でも台湾バナナの試食販売が行われました。
台湾と笠間市は、笠間台湾交流事務所をはじめ、オリンピックのホストタウンにもなっているなど、深いつながりがあります。観光やスポーツに加え、食の交流も始まり、今後さらなる交流が期待されます。

**第13回笠間市長杯
菊祭り
バレーボール大会**
令和元年11月3日
笠間市民体育館

優勝 CRAZY
準優勝 友部さつき
3位 WEED

CRAZYの皆さん



斬波のみなさん



Brother Beatsのお2人



純烈のみなさん (中央は山口市長)



左から、近藤副市長、岩崎シエフ



左から、筑波大学 蓮見名誉教授、グリュイエール 根本パティシエ、中川学園調理技術専門学校 中川校長、山口市長、行方市 鈴木市長、那珂市 先崎市長、茨城県農林振興公社 宮本理事長



送迎の様子



笑顔を見せる、菊田くん(相撲練習場にて)

6

3市自慢の特産品から、 新たな茨城スイーツが誕生

行方市のさつまいも・笠間市の栗・那珂市のかぼちゃの味を楽しめる焼き菓子「いもくりなんきん」が完成し、記者発表会が行われました。

これは、中川学園調理技術専門学校よびかけで立ち上げられた「3市いいもん会議」の中での取り組みで、自治体を越えた商品の誕生は県内初となります。12月からグリュイエールにて販売中です。

11/12

5

ふれあいサロンなごみ、送迎が利用可能に

笠間市社会福祉協議会大旭支部では、介護予防、健康づくり、閉じこもり防止などを目的に、気軽に集まり楽しく交流する場として毎月一回「ふれあいサロンなごみ」を開催しています。

今回、「参加したくても移動手段がなく参加できない」という方のために、うぐいすの杜を運営する(株)ベストケアーステックモアさんから、地域貢献として運転手と送迎車が提供され、10月から運行しています。

うぐいすの杜施設長の中嶋さんは「地域とのつながりができ、皆さんの笑顔が見られることが嬉しいです」と話されています。今後市では、サロン活動を支援していくとともに、地域の皆さんが様々な機関や団体と繋がれるよう応援していきます。

4

わんぱく相撲全国大会で第3位に輝く

第35回わんぱく相撲全国大会が東京都墨田区総合体育館で開催され、友部相撲少年団に所属する菊田流雅くん(六戸小6年)が全国第3位となりました。

菊田くんは「優勝を目指していたのでとても悔しい。もつと稽古を積んで強くなりたい。将来は大相撲で横綱を目指します。」と将来の夢を力強く宣言してくれました。

7

子どもたちが 笑顔でおもてなし

8月から始まった、笠間おもてなしキッズ養成講座。参加した児童は、笠間について学びながら観光ガイドなどのトレーニングを行い、自分たちで作成した「笠間のすてき案内カード」を使って、茨城国体や菊まつりに訪れたお客さまに観光案内や郷土の魅力を伝えるなど、笑顔でおもてなしをしました。

最終日の10月20日(日)には、教育長から一人ひとりに修了証が授与され、「よくがんばりました」と声をかけられたキッズたちは、笑みを浮かべ自信をのぞかせていました。

10/20

8

健康を保つ、広がる スクエアステップの輪

第9回笠間市スクエアステップ交流会が行われ、40サークル約460名の方が参加されました。

スクエアステップを笠間市で取り入れ10年が過ぎ、年間に延べ2万2千人の方がスクエアステップサークルで活動を行っています。活動を続ける事で下肢能力と認知機能の向上がみられ、介護状態の遅延が図られています。

スクエアステップは、地区の公民館等で実施しています。ご興味のある方は、ぜひご参加ください。

【問合せ先】地域包括支援センター
0296-78-5871

10/29



交流会の様子



おもてなしをする子どもたち